



TODA CORPORATION

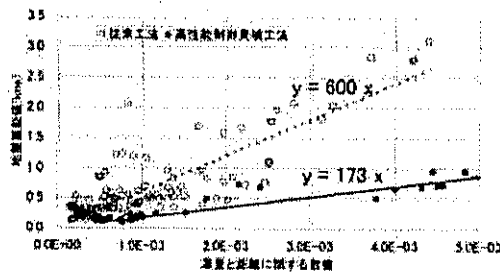
TOP >> 技術・土木

トンネル

制御発破工法



振動速度波形の低減例



地盤振動値の比較

▼特長

1. 高秒時精度電気雷管を使用して発破に伴う振動を抑制します。
2. 高秒時精度電気雷管は、爆破秒時をICIによって精密に制御します。
3. この電子雷管によって発破振動を細分化し、振動速度の絶対値を減少させて規制値を達成します。

■技術のポイント

1. 民家等が近接するために発破振動の伝播を規制の範囲に抑えることができます。
2. 割岩工法などの無発破工法を使用すれば振動規制値は達成できますが、掘削能率が低下します
3. 本工法を用いることにより、掘削能率を維持したまま、振動制御が達成できます。

この技術を利用した主な作品

- 岩中トンネル
- 宇原トンネル
- 巖原トンネル
- 石田トンネル

技術資料

論文一覧へ

All Rights Reserved, Copyright(c)2002, TODA CORPORATION